

デジタルデータを活用した生産工程の改善並びに 立体造形等の提案

株式会社シグナル

看板の立体化。
デジタルデータの積極的活用で
受注拡大を目指す。

概要

近年の看板製作では、デザイン性だけでなく立体造形など、複雑な形状の相談が増えている。同社はそうした相談に対しても応じることが可能な技術力はあるが、作業者の高齢化や旧式設備が原因となる生産性の低下という課題があった。本事業では、立体造形看板の受注に対応できる新設備を導入し、市場への提案を行う。

事業内容

1. 本事業取り組みへのきっかけ

○立体造形看板の相談が増加

同社の看板製作は、その技術力の高さから県内外多くの商店や小売店から相談がある。その中でも最近増えているのが立体造形の看板だった。

○設備の対応が困難

制作現場の加工機は単純な切断等の機械装置しかなく、立体造形の加工については全て手作業にて対応していた。

2. 本事業の目的

○新設備導入

今まで手作業で行っていた加工を、自動で行える加工機にて作業することとした。それまで蓄積しておいたデザインデータをそのまま使用できる加工機の選定を行なった。

○新デザインの試作

導入した機械装置にて、新規にデザインしたサンプルを試作した。立体データの他に掘り加工、立体文字や造形物の加工を行った。

3. 本事業の内容とポイント (一番苦労した点)

○機械操作と加工技術の習得

同社としては全く新規の機械装置であり、機械の操作方法から修得する必要があった。デザインと機械のオペレーションを行えるスタッフを育てることが最重要課題となった。

4. 本事業の成果

○立体造形看板製作工程の完成

自社デザインながら加工を外注していた過去のデザインについて、導入機械にて再現を行なった。特に不具合はなく、精度も確保できていた。

5. 成果の事業化に向けて

○屋内看板の受注体制強化

立体造形の看板については、特に屋内用としての相談が多くある状態である。同社の技術力に加えて、納品まで安定的な期日での回答が出来るようになり、受注確保が容易になった。

○看板引き合いの一括受注に向けて

屋内用看板の受注が可能になったこともあり、元来得意としていた屋外看板との一括した受注が可能となった。同社だけで

株式会社シグナルは、屋外の看板や標識等の製造・設置を主体に営業展開している、山陰で唯一の鉄骨・支柱など構造物まで対応可能な看板標識等の製造業である。県内の大型小売店の看板などを手がけている。



代表取締役
谷本隆臣

株式会社シグナル

〒694-0041
島根県大田市長久町長久イ555
TEL 0854-82-0170
FAX 0854-82-0373
E-mail sign-555@iwami.or.jp
創業／昭和10年4月

なく、発注する顧客側としてもお店のコンセプトの統一などの面からより相談しやすい体制となる。



導入したルーター



立体看板の製造も可能に

経営者から一言

今まで、お客様にデザイン提案していたデジタルデータを、看板製作時に紙書きなど、アナログデータにして、手作業にて製作を行ってきたが、NCルーターを使用する事により、デザインのデジタルデータを、そのままNCルーターに入力出来る。

それにより、大幅にコスト削減が期待できる。又、今まで外注していた物を、内製化する事により、納期短縮が図られ、新商品の開発並びに営業提案用試作品なども自社製作できるようになり、営業面においても活用する事が出来る。